

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】南砺市](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
47	2011.4.28			富山県	南砺市	55,358	668.86
構想の要約		南砺市は、給食残さや生ごみの堆肥化、林地残材・廃食用油・稲わらの燃料化等に取り組むとともに、食育などを通じた啓発活動を行い、市民・事業者・行政の協働によるバイオマスの活用を推進する。					
構想に盛り込まれた事業		①堆肥化事業 ②肥料化事業 ③ひまわりの食用油化事業 ④ペレット燃料化事業 ⑤エマルジョン燃料製造化事業 ⑥渋柿の皮の有効利用の研究・開発 ⑦稲わらの燃料化の研究・開発 ⑧クレー射撃の皿の代替品の研究・開発 ⑨バイオマス資源を活用した観光等 ⑩バイオマスに関する窓口の設置 ⑪バイオマスの普及・啓発、教育等の取組					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物(ひまわり)	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油		果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他(ダム流木)	○		
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料、パルプ原料、セメント原料、再生紙、マルチング材、茸栽培、食用油、クレー射撃代替皿)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2011.05.10	2011.04.28バイオマスタウン構想公表。

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

表 2. バイオマス利活用の目標

(単位: t/年)

バイオマス資源		現 況						目 標			
		賦存量		仕向量		変換・処理方法	利用率	利活用量		今後の 変換・処理方法	利用率
		湿潤 量	炭素換 算量	湿潤 量	炭素換 算量			湿潤 量	炭素換 算量		
廃棄物系バイオマス		—	7,494	—	6,187		83%	—	6,718		90%
家畜排せつ物	乳用牛	7,372	440	7,372	440	土壌還元、堆肥化	100%	7,372	440	土壌還元、堆肥化	100%
	肉用牛	9,780	584	9,780	584	同上	100%	9,780	584	同上	100%
	豚	35,047	2,091	35,047	2,091	同上	100%	35,047	2,091	同上	100%
	採卵鶏	4,187	250	4,187	250	同上	100%	4,187	250	同上	100%
	ブロイラー	1,328	79	1,328	79	同上	100%	1,328	79	同上	100%
	馬	58	3	58	3	同上	100%	58	3	同上	100%
食品廃棄物	家庭系生ごみ	1,189	53	581	26	RDF化、焼却処理、堆肥化	49%	608	27	RDF化、肥料化、堆肥化、焼却処理	51%
	事業系生ごみ	549	24	232	10	RDF化、焼却処理、肥料化、堆肥化、飼料化	42%	266	12	RDF化、肥料化、堆肥化、飼料化、焼却処理	50%
	家庭系廃食用油	88	63	44	31	RDF化、焼却処理、BDF化	49%	76	54	RDF化、エマルジョン燃料化、焼却処理	86%
	事業系廃食用油	168	120	100	71	RDF化、焼却処理、BDF化、飼料用の油脂化	59%	168	120	RDF化、エマルジョン燃料化、飼料用の油脂化	100%
	波柿の皮	193	16	0	0	—	0%	193	16	飼料化、化粧品類、木工製品の脱出し剤	100%
木質バイオマス	製材工場等廃木材(造園業等の剪定枝含む)	1,107	487	801	353	バーク堆肥化、バルブ原料化、セメント化、燃料チップ化、堆肥化、焼却処理	72%	801	353	バーク堆肥化、バルブ原料化、セメント化、燃料チップ化、堆肥化、焼却処理	72%
	剪定枝	13	3	13	3	バーク堆肥化、粉碎土壌化	100%	13	3	バーク堆肥化、粉碎土壌化	100%
	刈草	64	5	43	4	バーク堆肥化	80%	43	4	バーク堆肥化	80%
有機汚泥	下水・農集・林集汚泥	2,250	216	2,250	216	堆肥化、肥料化	100%	2,250	216	堆肥化、肥料化	100%
	し尿汚泥	2,991	287	2,991	287	堆肥化	100%	2,991	287	堆肥化	100%
	浄化槽汚泥	2,199	211	2,199	211	堆肥化	100%	2,199	211	堆肥化	100%
廃棄紙		5,207	2,502	3,106	1,526	RDF化、製紙原料化	60%	4,000	1,968	RDF化、製紙原料化	77%
未利用バイオマス		—	12,276	—	2,247		18%	—	4,357		40%
農産資源	稲わら	31,042	8,887	0	0	—	0%	8,806	2,521	直接燃焼化、固形燃料化、堆肥化、エタノール化、木質ペレット化、射撃の代替皿	28%
	もみがら	6,248	1,789	4,373	1,252	堆肥化、家畜敷料化、飼料化	70%	4,583	1,312	堆肥化、射撃の代替皿、家畜敷料化、飼料化	73%
	米ぬか	2,479	710	2,479	710	肥料化、堆肥化、茸栽培	100%	2,479	710	肥料化、堆肥化、茸栽培	100%
	麦わら	702	201	0	0	—	0%	0	0	—	0%
	大豆がら	534	153	0	0	—	0%	0	0	—	0%
	林地残材	1,126	251	0	0	—	0%	130	29	木質ペレット化	12%
林産資源	ダム流木	1,310	285	1,310	285	マルチング材、堆肥化、茸栽培、牛舎敷料	100%	1,310	285	マルチング材、堆肥化、茸栽培、牛舎敷料	100%
資源作物		—	6	—	2		33%	—	6		100%
油脂資源	ひまわりの種子	79	6	23	2	試験的にひまわりの種子を食用油化	33%	79	6	ひまわり食用油化	100%

備考) 利用率は炭素換算量で算出している。

バイオマスタウン構想概要図 (バイオマスタウン構想書からコピー)

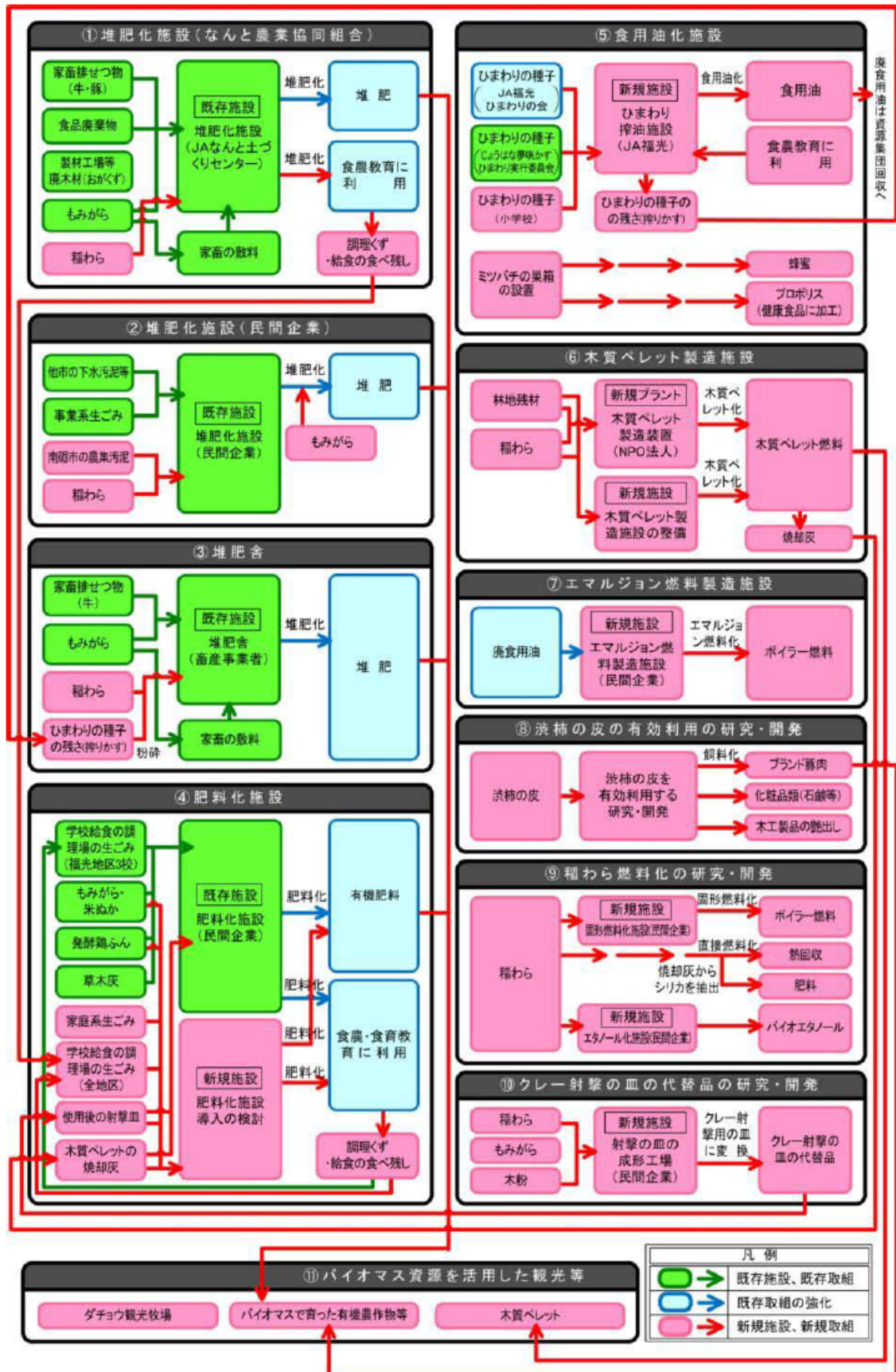


図 14. 地域のバイオマス利活用フロー図 (まとめ)

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)